

(案)

資料 3

(説明用) 令和5年度
生物多様性ふなばし戦略<改定版>
行 動 計 画

台地から海へ 水・緑・^{いのち}生命と共に暮らす^{まち}都市

生物多様性ふなばし戦略
<改定版>



令和5年度
船橋市

1. 目的

生物多様性ふなばし戦略<改定版> 行動計画（以下「本計画」という。）は、令和4年3月に策定した生物多様性ふなばし戦略<改定版>（以下「戦略」という。）に設定した各目標を達成することを目的とします。また、本計画は、戦略の「第5章 施策の展開」にかかる内容とします。

2. 本計画の位置づけ

戦略は、「台地から海へ 水・緑・^{いのち}生命と共に暮らす^{まち}都市」を基本理念に掲げ、基本理念の実現に向けた取り組みを定めています。本計画は、戦略の行動計画として位置づけられたものであり、より具体的な取組を定めます。

3. 本計画の構成

本計画は、戦略に準じ、第1章で戦略管理指標（状態指標及び目標指標）の戦略の目標年度である令和8年度時点の目標数値と令和5年度の目標数値を明らかにします。

第2章では、以下のとおり施策番号ごとに、令和8年度時点で目指すべき取組内容と令和5年度に実施予定の取組内容を明らかにします。

基本方針1 台地から浅海域までを結ぶ多様な自然環境の保全と利用

- | | |
|------------------|-------------|
| 1. 樹林地の保全と利用 | 施策番号（1～3） |
| 2. 畑地・水田の保全と利用 | 施策番号（4～10） |
| 3. 草地の保全と利用 | 施策番号（11） |
| 4. 干潟・浅海域の保全と利用 | 施策番号（12～17） |
| 5. 河川の保全と利用 | 施策番号（18～21） |
| 6. 公園・緑地の整備 | 施策番号（22～28） |
| 7. 風致地区の維持・保全 | 施策番号（29～30） |
| 8. 侵略的外来種対策の推進 | 施策番号（31～34） |
| 9. 自然環境モニタリングの実施 | 施策番号（35～38） |

基本方針2 生き物を育む水循環の確保

- | | |
|-------------------|-------------|
| 1. 水量の確保・地下水涵養の促進 | 施策番号（39～41） |
| 2. 水質等の保全 | 施策番号（42～43） |

基本方針3 生物多様性を活かした取組の推進

- | | |
|-----------------------|-------------|
| 1. 生物多様性と文化のつながりの継承 | 施策番号（44～47） |
| 2. 生物多様性を活用したまちづくりの推進 | 施策番号（48～57） |

基本方針4 普及啓発・環境教育の推進

1. 環境学習機会の拡充

施策番号（58～68）

2. 人材育成の実施

施策番号（69～70）

基本方針5 多様な主体の取組の推進

1. 多様な主体の取組の支援

施策番号（71～76）

2. 多様な主体の連携の促進

施策番号（77～80）

本計画は、当該年度における具体的な事業展開を定め、船橋市環境審議会の意見を
得て策定しています。

第1章 戦略管理指標（状態指標及び目標指標）

戦略では、戦略管理指標として中間年度と目標年度で数値目標を定め、進捗状況を定期的に点検・評価しています。

戦略管理指標には、施策の成果だけでなく、様々な要因によって変動する「状態指標」（例：全窒素の環境基準達成率など）と施策の成果が主な変動要因となる「目標指標」（例：イベントの来場者数など）があります。

次頁から、状態指標、目標指標の順に現状値と目標値を明らかにします。

■状態指標

基本方針① 台地から浅海域までを結ぶ多様な自然環境の保全と利用

戦略管理指標	担当課	基準値		現状		目標値	
		戦略策定時 (2015年度) (平成27年度)	戦略改定時 (2020年度) (令和2年度)	(2022年度) (令和4年度)		当該行動計画 (2023年度) (令和5年度)	戦略目標年度 (2026年度) (令和8年度)
				現状値(見込)	目標値		
【状態指標】 ミヤコドリ100羽以上の維持★4	環境政策課	306羽 ★5	394羽	433羽	100羽以上維持 (毎年度)	100羽以上維持 (毎年度)	100羽以上維持 (毎年度)
★4 ラムサール条約の国際的な基準6（水鳥の1種または1亜種の個体群で、個体数の1%を満たすミヤコドリ100羽以上）を満たすものです。 ★5 平成25年～27年の冬・春の観測（モニタリングサイト1000 シギドリ類調査）の平均値。							

基本方針④ 普及啓発・環境教育の推進

戦略管理指標	担当課	基準値		現状		目標値	
		戦略策定時 (2015年度) (平成27年度)	戦略改定時 (2020年度) (令和2年度)	(2022年度) (令和4年度)		当該行動計画 (2023年度) (令和5年度)	戦略目標年度 (2026年度) (令和8年度)
				現状値(見込)	目標値		
基本的な施策④-1 環境学習機会の拡充							
【状態指標】 生物多様性の認知度	環境政策課	調査実施前	調査実施前	40.60%	認知度の向上 (調査毎)	認知度の向上 (調査毎)	認知度の向上 (調査毎)

第2章 生物多様性ふなばし戦略<改定版> 行動計画

戦略では、基本的な施策ごとに船橋市が進めていく具体的な取組を定め、その進捗状況については毎年度、点検・評価を行うとともに、数値化が可能なものは、戦略管理指標として数値目標を定め、把握していくこととしています。

本計画は、目標年度である令和8年度時点での取組及び関連する目標値及び令和5年度の年度計画と目標値を明らかにするものです。

■行動計画の見方

生物多様性ふなばし戦略（改定版） 行動計画（原案）

課名	公園緑地課	
取組番号	1	
基本的な施策	樹林地の保全と利用	
取組	良好な樹林地の保全	
① 具体的な取組	買い取りや借り上げ、指定樹林制度による指定、現況調査などにより、良好な樹林地の保全を計画的に進めるとともに、樹林地の維持管理について、所有者の負担を軽減する方策について検討します。	
② 関連する目標指標	樹林地を維持・保全するための施策の実施面積	
③ 令和8年度時点での取組（最終目標）	緑の機能の評価が高い樹林地を買収や借地等により都市緑地や市民の森とするほか、指定樹林に指定し管理費用の助成等を行うことで保全します。	目標指標の目標値
		（令和7年度） 226ha
④ 令和4年度年度計画	都市緑地や市民の森となりうる候補地の検討・調査。指定樹林などによる保全施策の実施。	目標指標の目標値
		202ha
⑤ 令和4年度実績見込	宅地開発に伴う帰属による都市緑地を1箇所新規開設しました。指定樹林の総数は5件増加し、148件となる見込みです。	目標指標の実績見込値
		197ha
		当初年度計画に対する進捗状況（見込）
	最終目標に対する進捗状況（見込）	C
⑥ 令和5年度年度計画	都市緑地や市民の森となりうる候補地の検討・調査。指定樹林などによる保全施策の実施。	目標指標の目標値
		207ha
⑦ 特記事項（課題等）	近年、近隣からの苦情や高齢化、宅地開発による指定樹林の解除、樹木の伐採が多く見られます。高齢化等により維持管理が行き届いていない樹林等に関する苦情が多く寄せられています。	

- ① 各分野における具体的な取組を記載しています。現行戦略は平成29年度から令和8年度を対象期間とし、平成28年度に策定され、令和4年3月に改定しました。これらの取組は策定時または改定時に設定されたものであり、対象期間において継続的に取り組むものとなります。
- ② 現行戦略は平成29年度から令和8年度を対象期間とし、平成28年度に策定され、令和4年3月に改定しました。その際、各種施策の進捗状況を把握するために、数値での把握が可能な項目に関連する目標指標として設定しております。
- ③ 令和8年度時点での取組内容と目標値を記載しています。
- ④ 令和4年度の年度計画を記載しています。
- ⑤ 令和4年度の実績見込と実績見込値を記載しています。また、当初年度計画及び最終目標に対する進捗状況（見込）を記載しています。なお、評価基準は以下のとおりです。
A：予定を上回る実施状況である。（達成率100%を超える）
B：おおよそ予定どおりの実施状況である。（達成率80%～100%）
C：実施しているが遅れている。または、その実施内容に進展が見られない。（達成率60%～80%）
D：施策に大幅な遅れがみられる。または、未実施である。（60%未満）
- ⑥ 令和5年度の年度計画と目標値を記載しています。
- ⑦ 各取組における課題等を記載しています。

課名	環境政策課		環境政策課		環境政策課		環境政策課		環境政策課		
取組番号	36		33		34		65		66		
基本的な施策	自然環境モニタリングの実施		侵略的外来種対策の推進		侵略的外来種対策の推進		環境学習啓発会の拡充		環境学習啓発会の拡充		
取組	指標種を用いたモニタリングの実施		侵略的外来種の予防・対策の実施		侵略的外来種の予防・対策の実施		ふなばし三番瀬海浜公園の利用の推進		ふなばし三番瀬環境学習館での学習		
具体的な取組	大学などの専門機関と協力し、市内におけるモニタリングを実施します。モニタリングに当たっては、市内小中学校、高校、大学、市民団体、事業者など、多様な主体の参加・連携による継続的モニタリングの計画・実施を検討し、幅広く情報を共有できるように努めます。		市民、事業者から広く外来種情報を収集し、計画的な防除を視野に入れ、重点的に対策を行う対象種の選定、分布マップ作成などを実施します。		外来種については、近隣自治体との情報共有および連携した対策を講じます。		ふなばし三番瀬海浜公園を活用し、海や海洋生物、鳥などの自然と親しみ、自然を学び、憩える場としての利用の推進をはかります。		三番瀬環境学習館において、貴重な干潟である三番瀬などの地域資源を活かした環境についての学びをオンラインも活用して推進し、環境意識の醸成をはかります。		
関連する目標指標	指標種のモニタリング調査報告件数		該当なし		該当なし		ふなばし三番瀬環境学習館の総利用者数		ふなばし三番瀬環境学習館で実施する野外ワークショップの参加者数		
令和8年度 時点での取組 (最終目標)	季節に応じた鳥類、昆虫類、植物類のうち12種、及び外来種3種、合計15種を指標種として、市民団体や学校・研究機関との連携による実施を行い、指標種の調査報告件数を達成します。	目標指標の 目標値	ホームページ・ツイッターなどにより市内で確認される外来種について情報発信を拡大するとともに、指標種のモニタリングや問い合わせ情報に基づき、分布マップを作成します。情報を整理した上で必要に応じて、重点的に対策を行う対象種を選定します。	目標指標の 目標値	外来種については、近隣自治体との情報共有し、状況に応じて連携した対策を検討・実施します。	目標指標の 目標値	ふなばし環境フェア、ふなばし三番瀬海浜公園を活用します。また、ふなばし三番瀬環境学習館においては、野鳥観察会や干潟の生きもの探検といった対面でのワークショップやオンラインワークショップを開催し、三番瀬やそこに住む生物の紹介を行い、ふなばし三番瀬海浜公園の利用促進に努めます。	目標指標の 目標値	ふなばし三番瀬環境学習館で、オンラインも活用したワークショップ等を通じて環境保全の意識醸成を図ります。	目標指標の 目標値	2,600人
		200件		該当なし		該当なし		58,000人			
令和4年度 年度計画	調査対象の指標種を1種類から4種類に拡充し、モニタリング調査を実施します。	目標指標の 目標値	ホームページ・ツイッターなどで外来種の情報発信を図るとともに、外来種を対象とした市民参加型モニタリングを実施します。	目標指標の 目標値	外来種について、近隣自治体との情報共有を図ります。	目標指標の 目標値	ふなばし環境フェア、ふなばし三番瀬クリーンアップを開催します。また、ふなばし三番瀬環境学習館においては、野鳥観察会や干潟の生きもの探検といった対面でのワークショップやオンラインワークショップを開催します。	目標指標の 目標値	ふなばし三番瀬環境学習館で、オンラインも活用したワークショップ等を通じて環境保全の意識醸成を図ります。	目標指標の 目標値	2,000人
		60件		該当なし		該当なし		49,600人			
令和4年度 実績見込	調査対象の指標種を1種類から4種類に拡充し、モニタリング調査を実施し、調査結果をWEB上にマッピングする準備を進めました。また、調査対象の指標種を15種とした、モニタリング調査の手引きを作成しました。	目標指標の 実績見込値	ホームページ・ツイッターなどで外来種の情報発信を図りました。また、アカミミガメを対象とした市民参加型モニタリングを実施しました。アカミミガメにオオキンケイギク、アライグマを加えて市民参加型生きものモニタリングハンドブックを作成し、3月にweb公開する予定です。	目標指標の 実績見込値	アライグマ・ハクビシンなどについて近隣自治体の取り組み状況の把握に努めました。近隣自治体と一同に会した情報共有の場は、ありませんでした。	目標指標の 実績見込値	ふなばし環境フェア、ふなばし三番瀬クリーンアップを開催しました。また、ふなばし三番瀬環境学習館においては、野鳥観察会や干潟の生きもの探検といった対面でのワークショップやオンラインワークショップを開催しました。ふなばし三番瀬環境学習館の利用者数は目標に達する予定です。	目標指標の 実績見込値	ふなばし三番瀬環境学習館で、オンラインも活用したワークショップ等を通じて環境保全の意識醸成を図りました。	目標指標の 実績見込値	2,617人
	当初年度計画に対する進捗状況（見込）	B	当初年度計画に対する進捗状況（見込）	B	当初年度計画に対する進捗状況（見込）	C	当初年度計画に対する進捗状況（見込）	A	当初年度計画に対する進捗状況（見込）	A	
	最終目標に対する進捗状況（見込）	B	最終目標に対する進捗状況（見込）	B	最終目標に対する進捗状況（見込）	B	最終目標に対する進捗状況（見込）	B	最終目標に対する進捗状況（見込）	B	
令和5年度 年度計画	調査対象の指標種を4種類から15種類に拡充し、モニタリング調査を実施するとともに調査結果をマッピング化してWeb上に公開します。	目標指標の 目標値	引き続きホームページ・ツイッターなどで外来種の情報発信を図るとともに、外来種を対象とした市民参加型モニタリングを実施します。	目標指標の 目標値	外来種については、近隣自治体との情報共有を図ります。	目標指標の 目標値	ふなばし環境フェア、ふなばし三番瀬クリーンアップを開催します。また、ふなばし三番瀬環境学習館においては、野鳥観察会や干潟の生きもの探検といった対面でのワークショップやオンラインワークショップを開催します。	目標指標の 目標値	ふなばし三番瀬環境学習館で、オンラインも活用したワークショップ等を通じて環境保全の意識醸成を図ります。	目標指標の 目標値	2,200人
		90件		該当なし		該当なし		51,700人			
特記事項 (課題等)											

課名	環境政策課	環境政策課	環境政策課	環境政策課	環境政策課	環境政策課	環境政策課	環境政策課	環境政策課	環境政策課		
取組番号	75	69	70	70	48	10						
基本的な施策	多様な主体の取組の支援	人材育成の実施	人材育成の実施	人材育成の実施	生物多様性を活用したまちづくりの推進	遊休農地・水田の保全と利用						
取組	事業者を対象とした生物多様性に関する普及啓発	人材育成の実施	ふなばしエコカレッジの開講	ふなばしエコカレッジの開講	生物多様性への配慮指針（チェックリスト）の策定	遊休農地（谷津田等）における自然環境価値の検討						
具体的な取組	市内に事業所をもつ事業者を対象とした生物多様性に関する普及啓発の機会を設けます。また、普及啓発にあたっては、他自治体の事例研究や専門的な知識を有する有識者や教育・研究機関、市民団体などとの協力体制の構築をはかります。	市民・団体・事業者に対して、生物多様性の取組を促進するための人材育成を実施します。	ふなばしエコカレッジを開講し、生物多様性に関する取組の後継者やリーダーを育成し、将来に向けた継続的な活動を促進します。令和6年度の本格的な実施をめざし、運営にあたっては市民団体と協働し、エコカレッジ卒業生が生物多様性保全活動に参加できるよう支援を行います。	ふなばしエコカレッジを開講し、生物多様性に関する取組の後継者やリーダーを育成し、将来に向けた継続的な活動を促進します。令和6年度の本格的な実施をめざし、運営にあたっては市民団体と協働し、エコカレッジ卒業生が生物多様性保全活動に参加できるよう支援を行います。	土地利用の変化を起こす工事において、自主的な生物多様性への配慮を促すための指針（チェックリスト）及びその運用方法について、専門的な知識を有する有識者と連携しながら、検討を行います。	遊休農地の円滑な再使用及び市の生物多様性の向上に資する遊休農地の利用方法について、水質浄化や治水なども視野にいれて検討します。						
関連する目標指標	該当なし	ふなばしエコカレッジ卒業後の体験回数	ふなばしエコカレッジ卒業生数	ふなばしエコカレッジ卒業生数	該当なし	該当なし						
令和8年度時点での取組（最終目標）	市内に事業所をもつ事業者を対象とした生物多様性に関する普及啓発の機会を、市と包括連携協定を結んでいる事業者と連携して設けます。平年として、他自治体に対する事業者への普及啓発について事例収集し、適切な体制を構築していきます。	目標指標の目標値	ふなばしエコカレッジを開講し、市民や団体に対して生物多様性の取組を促進するための人材育成を実施します。事業者に対しては生物多様性についての講演を実施します。	目標指標の目標値	ふなばしエコカレッジを開講し、生物多様性に関する取組の後継者やリーダーを育成し、将来に向けた継続的な活動を促進します。運営にあたっては市民団体と協働し、エコカレッジ卒業生が生物多様性保全活動に参加できるよう支援を行います。	目標指標の目標値	生物多様性への配慮指針（チェックリスト）及びその運用方法について、専門的な知識を有する有識者と連携し、検討・策定します。導入にあたっては民間での適用前に公共工事における適用が考えられるため、市内で連携した検討を行い、公共工事における適用を開始します。	目標指標の目標値	該当なし	遊休農地の円滑な再使用及び市の生物多様性の向上に資する遊休農地の利用方法について、水質浄化や治水などのグリーンインフラの視点を踏まえて検討し、市域の谷津田の状況を把握し、今後の方向性を取りまとめます。	目標指標の目標値	該当なし
	該当なし	該当なし	180人（累計）	60人	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし		
令和4年度年度計画	市内に事業所をもつ事業者を対象とした生物多様性に関する普及啓発の機会を、市と包括連携協定を結んでいる事業者と連携して検討します。他自治体における事業者への普及啓発について事例を収集します。	目標指標の目標値	ふなばしエコカレッジを開講した。その中で実習講座を市民団体への参加として、団体の人員確保等の支援を図ります。事業者に対しては生物多様性についての講演の開催を検討します。	目標指標の目標値	ふなばしエコカレッジ第1期を開講します。	目標指標の目標値	生物多様性への配慮指針（チェックリスト）の導入について、課題を抽出・整理し、市内協議を開始します。	目標指標の目標値	該当なし	遊休農地の円滑な再使用及び市の生物多様性の向上に資する遊休農地の利用方法について、情報収集を行います。	目標指標の目標値	該当なし
	該当なし	該当なし	累計15人	30人	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし		
令和4年度実績見込	事業者に対しては生物多様性についての講演を、船橋市と包括連携協定を結んでいるイケアジャパンと連携し、環境に関する市内研修会を実施しました。千葉県生物多様性センターが主催する「生物多様性ちば企業ネットワーク」に参加し、情報収集に努めました。	目標指標の実績見込値	ふなばしエコカレッジを開講し、43人が修了しました。その中で実習講座を市民団体への参加として、団体の人員確保等の支援を図りました。事業者に対しては生物多様性についての講演を、船橋市と包括連携協定を結んでいるイケアジャパンと連携し、環境に関する市内研修会を実施しました。	目標指標の実績見込値	ふなばしエコカレッジ第1期を開講し、43人が修了しました。	目標指標の実績見込値	生物多様性への配慮指針（チェックリスト）の導入について、課題を抽出しました。	目標指標の実績見込値	該当なし	先進事例の現地視察を行いました。また、市域における有休農地の活用について有識者と情報共有を行いました。	目標指標の実績見込値	該当なし
	当初年度計画に対する進捗状況（見込）	B	当初年度計画に対する進捗状況（見込）	B	当初年度計画に対する進捗状況（見込）	A	当初年度計画に対する進捗状況（見込）	C	当初年度計画に対する進捗状況（見込）	B		
	最終目標に対する進捗状況（見込）	B	最終目標に対する進捗状況（見込）	B	最終目標に対する進捗状況（見込）	B	最終目標に対する進捗状況（見込）	B	最終目標に対する進捗状況（見込）	B		
令和5年度年度計画	市内に事業所をもつ事業者を対象とした生物多様性に関する普及啓発の機会を、市と包括連携協定を結んでいる事業者と連携して設けます。他自治体における事業者への普及啓発について事例を収集します。	目標指標の目標値	ふなばしエコカレッジを開講した。その中で実習講座を市民団体への参加として、団体の人員確保等の支援を図ります。事業者に対しては生物多様性についての講演を実施します。	目標指標の目標値	ふなばしエコカレッジ第2期を開講します。エコカレッジ卒業生が生物多様性保全活動に参加できる支援体制を構築し、支援します。	目標指標の目標値	生物多様性への配慮指針（チェックリスト）の導入について、市の関連手続きの把握・整理を実施し、今後の方向性を検討します。	目標指標の目標値	該当なし	他市の有休農地に係る事例の調査、令和6年度からの自然環境調査へ遊休農地（主に谷津田）に関する調査を取り入れることについて検討します。	目標指標の目標値	該当なし
	該当なし	該当なし	累計35人	30人	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし			
特記事項（課題等）	-	-	-	応募数が多かったことから、当初定員を超える人数を受講生として決定しました。しかしながら、フィールドワークでは機動性に欠け、各個人への効果については今後検討が必要です。	-	-	-	-	-	-		

課名	公園緑地課	
取組番号	39	
基本的な施策	水量の確保・地下水涵養の促進	
取組	樹林や農地、雨水浸透施設の整備などによる雨水浸透の促進	
具体的な取組	水源涵養機能を持つ、樹林や農地の保全、市街地における雨水浸透施設（透水性舗装など）の整備や、雨水浸透ますの設置を支援し、雨水の浸透を促進、地下水の涵養をはかります。また、樹林地の維持管理については、所有者の負担を軽減する方策について検討します。	
関連する目標指値	①樹林地を維持・保全するための施策の実施面積 ②都市公園の総面積	
令和8年度時点での取組（最終目標）	<p>船橋市緑の保存と緑化の推進に関する条例等に基づき樹林の保全を進めていくほか、買収や借地等により都市緑地や市民の森とすることや、指定樹林に指定を行います。</p> <p>また、公園、緑地の計画的な整備を進めることで、都市公園の総面積を増加させます。</p>	<p>目標指値の目標値</p> <p>①R71226ha ②R71231ha</p>
令和4年度年度計画	<p>船橋市緑の保存と緑化の推進に関する条例等に基づき樹林の保全を進めていくほか、買収や借地等により都市緑地や市民の森とすることや、指定樹林に指定を行います。</p> <p>また、新たな公園適地の模索等を行います。</p>	<p>目標指値の目標値</p> <p>①202ha ②222ha</p>
令和4年度実績見込	<p>宅地開発に伴う附属等により都市公園を11箇所新規開設する見込みです。また、既存公園の拡張工事を1件行いました。指定樹林の総数は5件増加し、148件となる見込みです。</p>	<p>目標指値の実績見込値</p> <p>①197ha ②219ha</p>
	当初年度計画に対する進捗状況（見込）	C
	最終目標に対する進捗状況（見込）	C
令和5年度年度計画	<p>船橋市緑の保存と緑化の推進に関する条例等に基づき樹林の保全を進めていくほか、買収や借地等により都市緑地や市民の森とすることや、指定樹林に指定を行います。</p> <p>また、新たな公園用地の買収等を行います。</p>	<p>目標指値の目標値</p> <p>①207ha ②223ha</p>
特記事項（課題等）	<p>近年、近隣からの苦情や高齢化、宅地開発による指定樹林の解除、樹木の伐採が多く見られます。高齢化等により維持管理が行き届いていない樹林等に関する苦情が多く寄せられています。</p>	